

(公表用)

指名（一般）競争入札 質問・回答書

件 名 : 国補 大規模盛土造成地安全性把握業務委託

質 問 内 容		回 答
1	総括情報表に「実施設計単価表等の適用日08.07.01」とあるが、市場単価は春号（4月）を適用していると考えてよろしいか。	公告月の単価期としています。
2	「高密度表面波探査 測点設定費」の「ペイント」「トランシット」「レベル」「その他測量器具」について、単価の出典又は単価について教示願いたい。	見積により単価を決定しています。単価の公表は行っていません。
3	「電子成果品作成費 弾性波探査」について、算出方法は「 $0.0215 \times$ 高密度表面波探査の直接調査費（円） $+45451$ 」と考えてよろしいか。	本業務委託については、ご示唆のとおりで間違いありません。 対象となる直接調査費は、高密度表面波探査の測点設定費及び観測費を合わせた額となります。
4	T-11（調査）頁の0-0007に計上されている安全費の算出方法について教示願いたい。 安全費の算出に用いる「直接調査費」については「設計業務等標準積算基準」2-1-5の積算方法によれば直接経費（電子成果品作成費及び地盤情報データベース登録検定費）を含めずに算出するものと理解しているが、今回の安全費についてもこの方法を採用しているか。	今回の安全費の算出に用いる「直接調査費」については、「地盤情報データベース登録検定費」を含んでいません。
5	T-11（調査）頁の0-0022（施工第0-0014号表）「高密度表面波探査 測点設置費」に計上されている「ペイント」「トランシット機械損料」「レベル機械損料」「その他測器具機械損料」の単価又は出典元を教示願いたい。 なお「レベル機械損料」の出典元が国土地理院の測量機械等援料算定表である場合、規格を教示願いたい。	見積により単価を決定しています。単価の公表は行っていません。

6	T-11（調査）頁の0-0028（施工第0-0020号表）に計上されている「トラック〔クレーン装置付〕3～3.5t積み2.9t吊」の単価又は出典元を教示願いたい。	出典元は、「令和7年度 建設機械等損料表」になります。
7	電子成果品について、「設計業務等標準積算基準書」によると電子成果品は直接調査費の率計上となっている。 施工第0-0016号表と施工第0-0017号表では成果品作成区分が機械ボーリング市場単価と弾性波探査に分かれているが、それぞれの対象となる直接調査費の範囲を教示願いたい。	施工第0-0016号表（機械ボーリング市場単価）の対象となる直接調査費は、高密度表面波探査の測点設定費及び観測費を除いた額となります。 施工第0-0017号表（弾性波探査）の対象となる直接調査費は、高密度表面波探査の測点設定費及び観測費を合わせた額となります。
8	測量業務 施工第0-0001号表「縦断測量」について、適用されている歩掛は補正後の歩掛との認識でよろしいか。	金抜設計書に記載の歩掛における数量は補正前のものになります。 別途、地域による変化率、交通量による変化率については、設計書に記載の条件を参照してください。
9	地質調査業務 施工第0-0014号表「高密度表面波探査 測点設定費」について、ペイント・トランシット・レベル・その他測量器具の採用単価を教示願いたい。 施工第0-0015号表「高密度表面波探査 観測費」について、機械等損料は地質調査技師3.0人、主任地質調査員3.0人、地質調査員9.0人の合計額に対し、4.7%を乗じて算出するとの認識でよろしいか。 統括情報表において施工管理費が計上されていないが、施工管理費は計上しないとの認識でよろしいか。	見積により単価を決定しています。単価の公表は行っていません。 施工第0-0015号表 高密度表面波探査 観測費の機械等損料については、一般社団法人全国地質調査業協会連合会発行の「全国標準積算資料 土質調査・地質調査 令和7年度改定歩掛版」のIV-49項 1-5-2-5観測費に記載のとおりです。 施工管理費について計上していませんが、監督員と協議し、設計変更の上業務を実施するものとします。
10	解析等調査業務 電子成果品作成費（その他設計業務）の算定にあたり、計算対象となる項目を教示願いたい。	電子成果品作成費（その他設計業務）の計算対象となる項目については、一般財団法人経済調査会発行の「設計業務等標準積算基準書 令和7年度版」第1章 土木設計業務等積算基準3-1-3に記載のとおりです。 諸条件については、金抜設計書の摘要欄等をご確認ください。